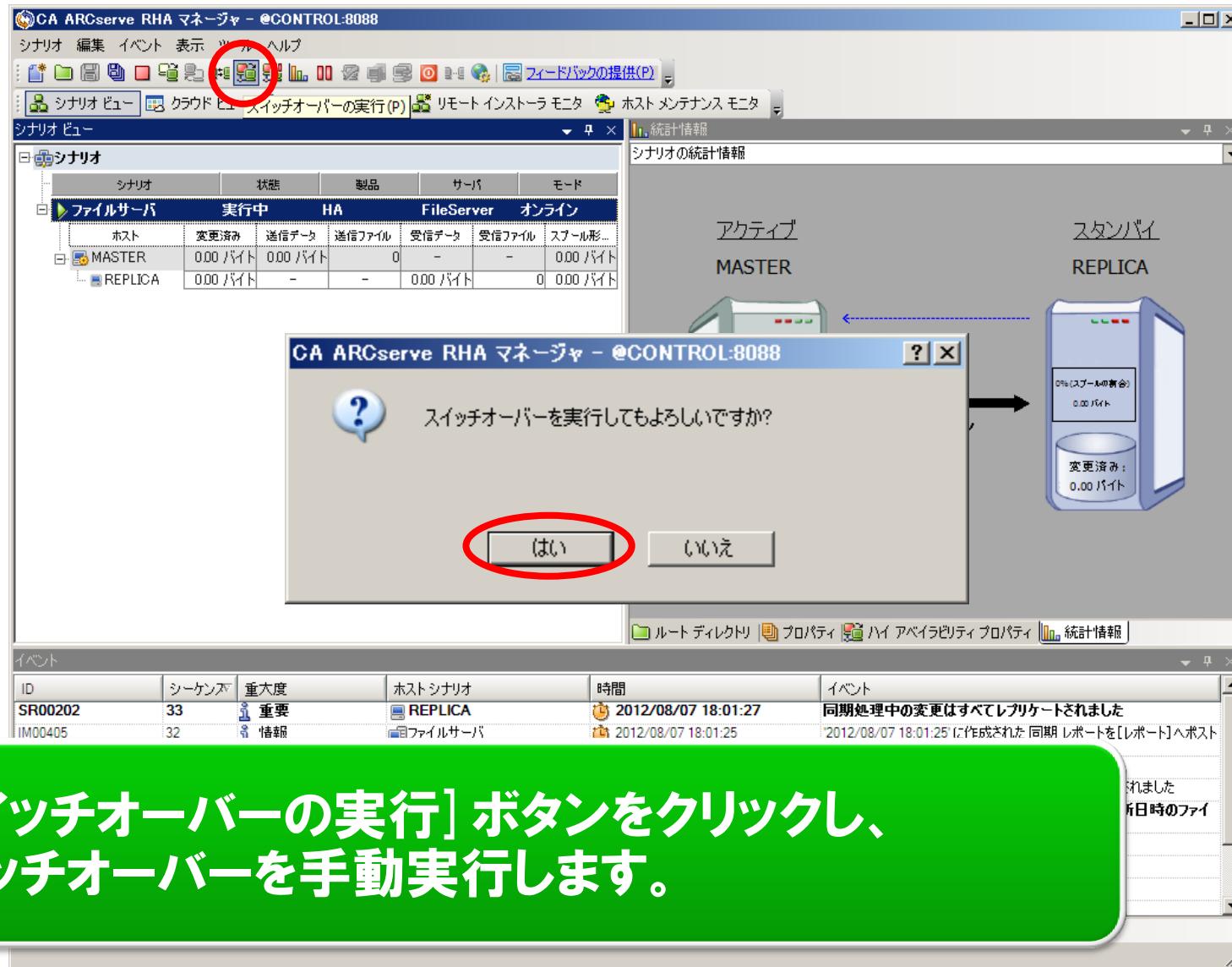


スイッチオーバーを手動で実行し、サーバの自動再起動が行われることを確認します。その後、マスター・レプリカそれぞれのコンピュータ名が変更され、DNSサーバ上のマスターのAレコードがレプリカと同じIPアドレスになっていることを確認します。

また、管理サーバのデスクトップにある「第1ソリューション営業部 (¥¥Master)」へのショートカットを使ってこれまで通り共有フォルダにアクセスできる事も確認します。

# スイッチオーバーの実行



[スイッチオーバーの実行] ボタンをクリックし、  
スイッチオーバーを手動実行します。

# スイッチオーバーの実行

CA ARCserve RHA マネージャー @CONTROL:8088

シナリオ 編集 イベント 表示 ツール ヘルプ

シナリオ ビュー クラウド ビュー スナップショット ビュー リモート インストーラ モニタ ホスト メンテナンス モニタ

シナリオ ビュー

シナリオ

シナリオ	状態	製品	サーバ	モード
ファイルサーバ	スイッチオーバー HA	FileServer	オンライン	
MASTER	0.00 バイト	0.00 バイト	0	-
REPLICA	0.00 バイト	-	-	0.00 バイト

シナリオの統計情報

アクティブ MASTER

スタンバイ REPLICA

スイッチオーバーの進行中

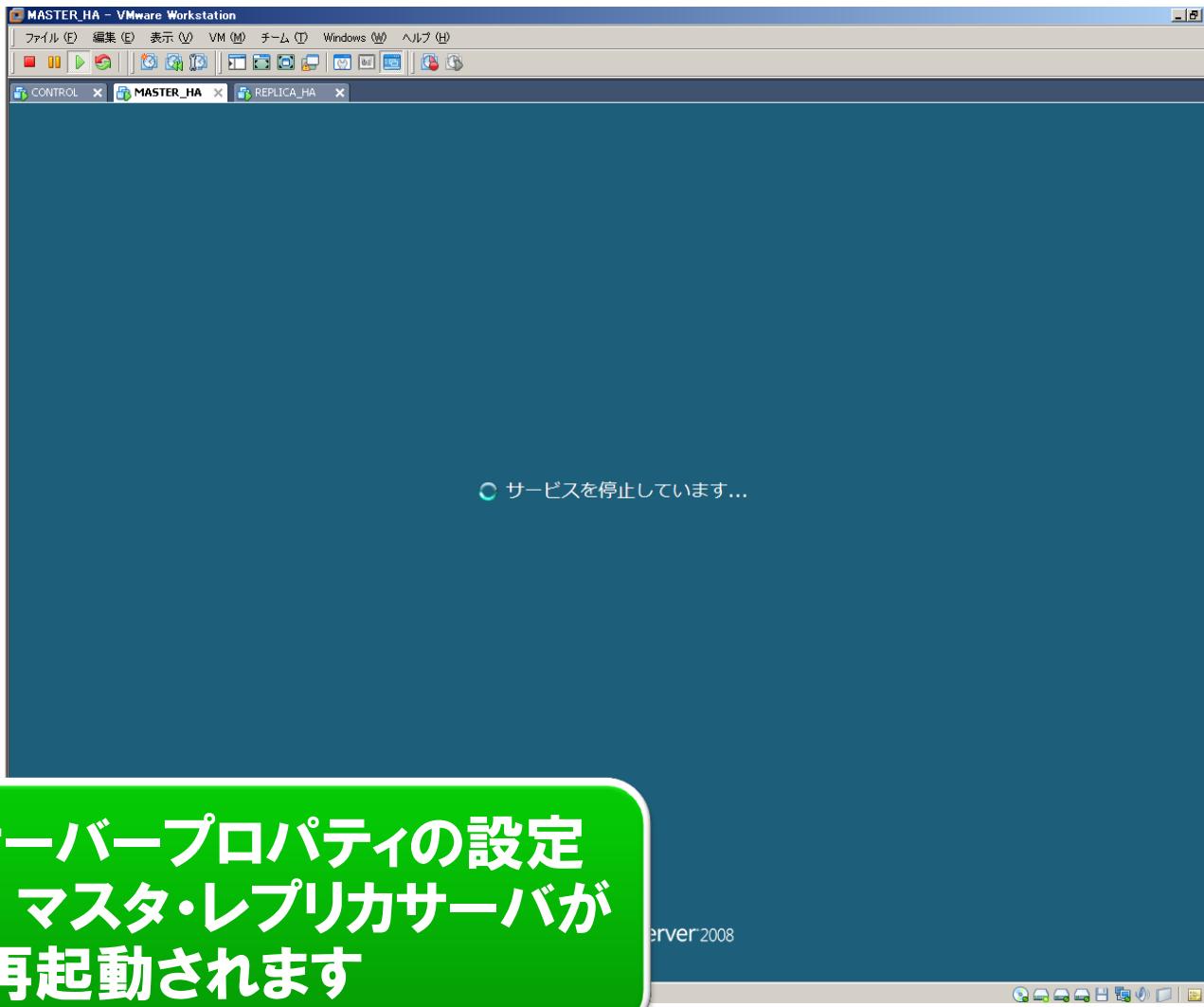
イベント

ID	シーケンス	重大度	ホスト シナリオ	時間	イベント
IR00309	35	情報	MASTER	2012/08/07 18:02:36	共有を無効にしています
SR00181	34	重要	MASTER	2012/08/07 18:02:35	スイッチオーバー プロシージャを開始しています

01:27  
25  
01:25  
25  
01:19  
19  
19

ルート ディレクトリ プロパティ ハイ アベイラビリティ プロパティ 統計情報

# スイッチオーバーの実行

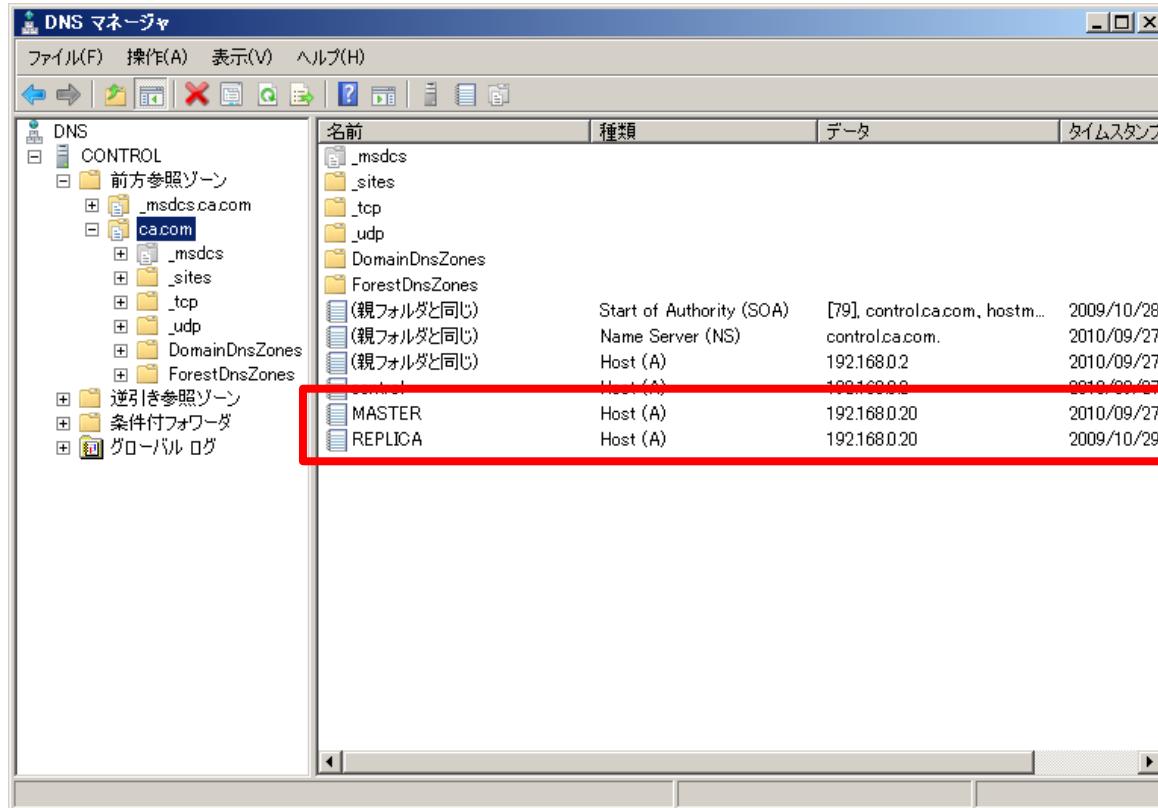


スイッチオーバープロパティの設定  
に基づき、マスタ・レプリカサーバが  
それぞれ再起動されます

※デフォルト設定ではイベントに「<ホスト名>は今再起動されます」と表示された時間から  
120秒(2分)後に再起動が自動的に行われます

# スイッチオーバーの実行後の確認 ~DNSレコード~

管理サーバのスタートメニューから [管理ツール] - [DNS] を開き、[前方参照ゾーン] - [ca.com] を選択します。マスタサーバとレプリカサーバのIPアドレスが同一になっていることを確認します。



# スイッチオーバーの実行後の確認 ~コンピュータ名~

マスタ・レプリカ両方にログオンし、コマンドプロンプトでコンピュータ名が変更された事を確認します



```
管理者: C:\Windows\system32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 6.0.6002]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation.

C:\$Users\$Administrator>hostname
MASTER-RHA

C:\$Users\$Administrator>
```

マスタのコンピュータ名



```
管理者: コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 6.0.6002]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation.

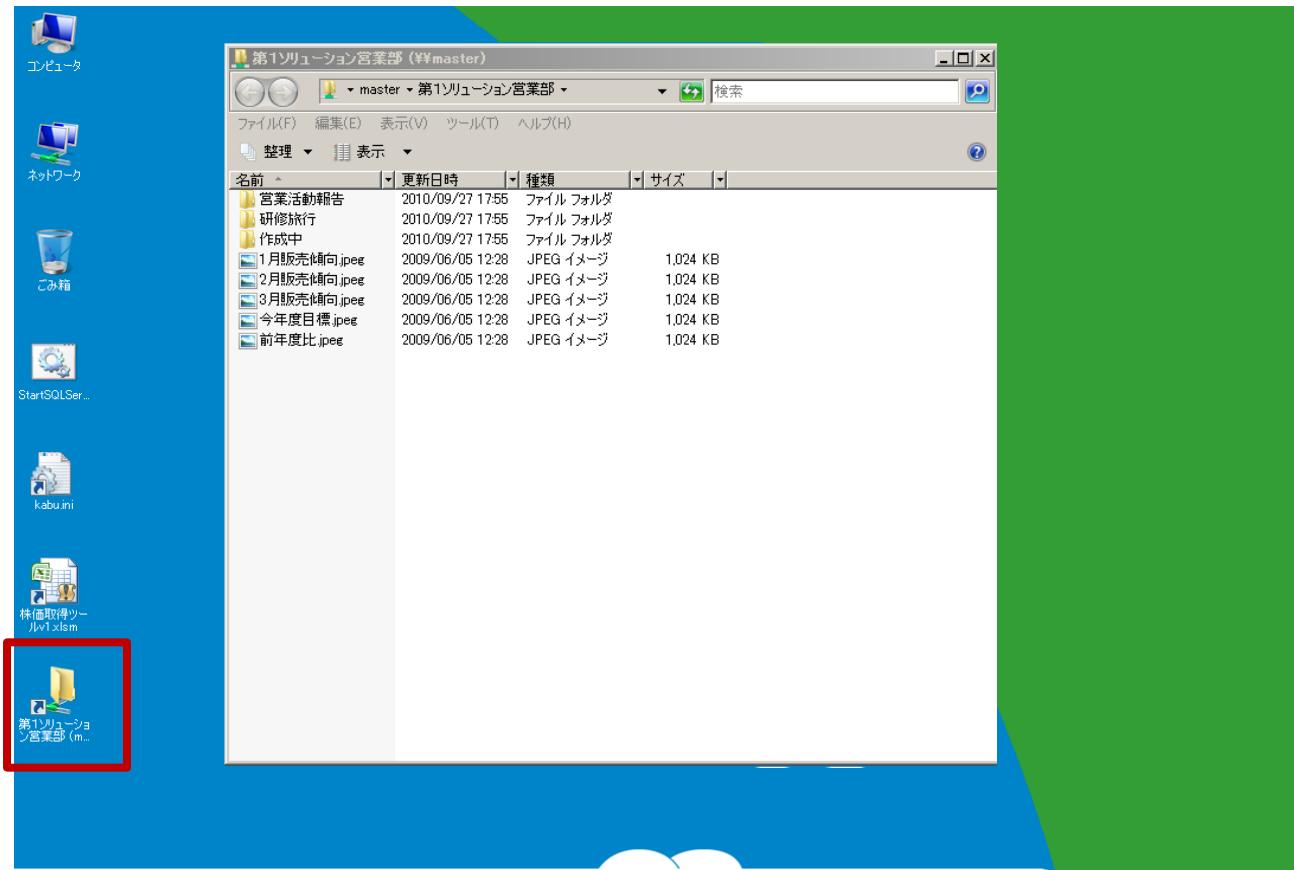
C:\$Users\$Administrator>hostname
MASTER

C:\$Users\$Administrator>
```

レプリカのコンピュータ名

※ ログオンの際は「CTRL + ALT + INSERT」で！

# スイッヂオーバー後のファイルサーバへのアクセス



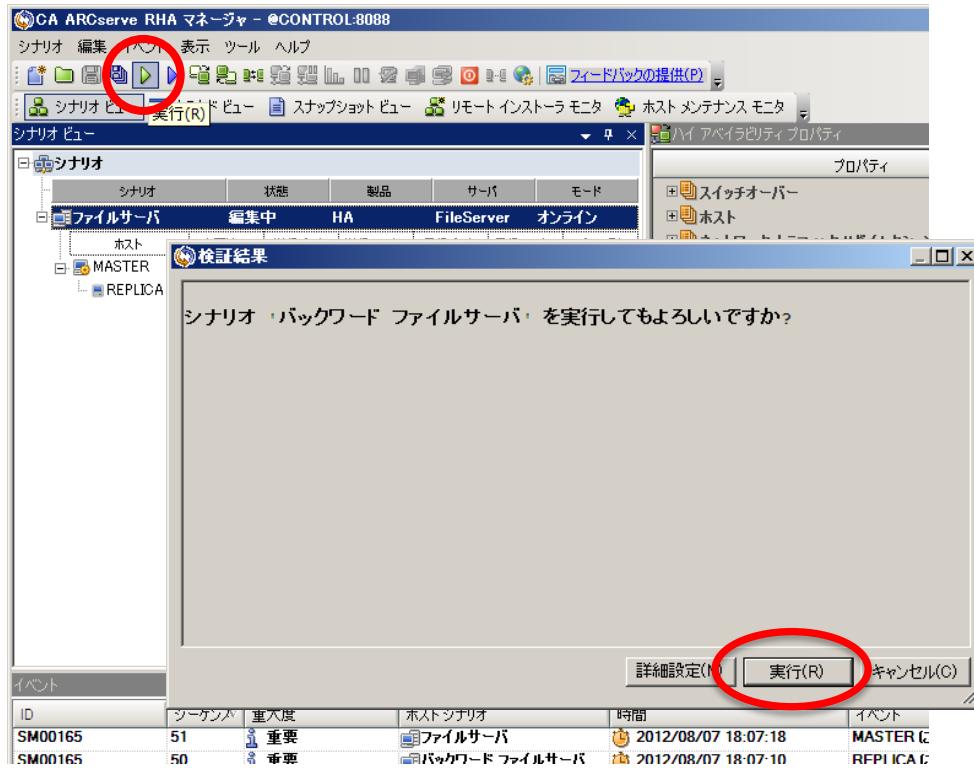
マスタサーバ・レプリカサーバが起動したら、管理サーバ上の「第1ソリューション営業部 (¥¥Master)」ショートカットを開きます



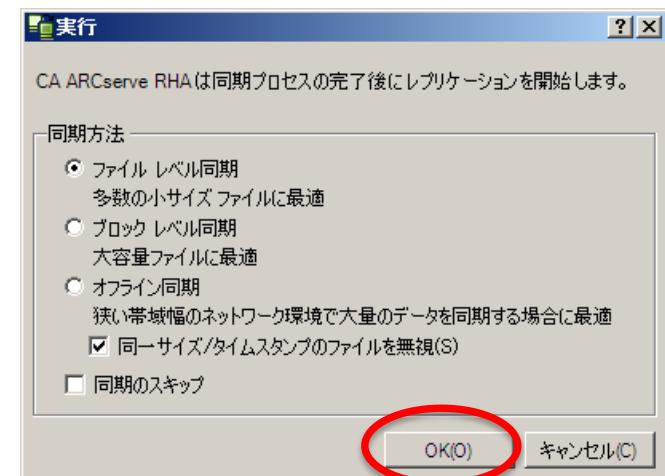
シナリオを再び実行し、レプリカ ⇒ マスタへのリバース  
(逆向き)レプリケーションを開始します

その後、スイッチオーバーを再度実行し、マスタ・レプリカのコンピュータ名とDNS Aレコードが元に戻る事を確認します

# リバースレプリケーションとスイッチバック

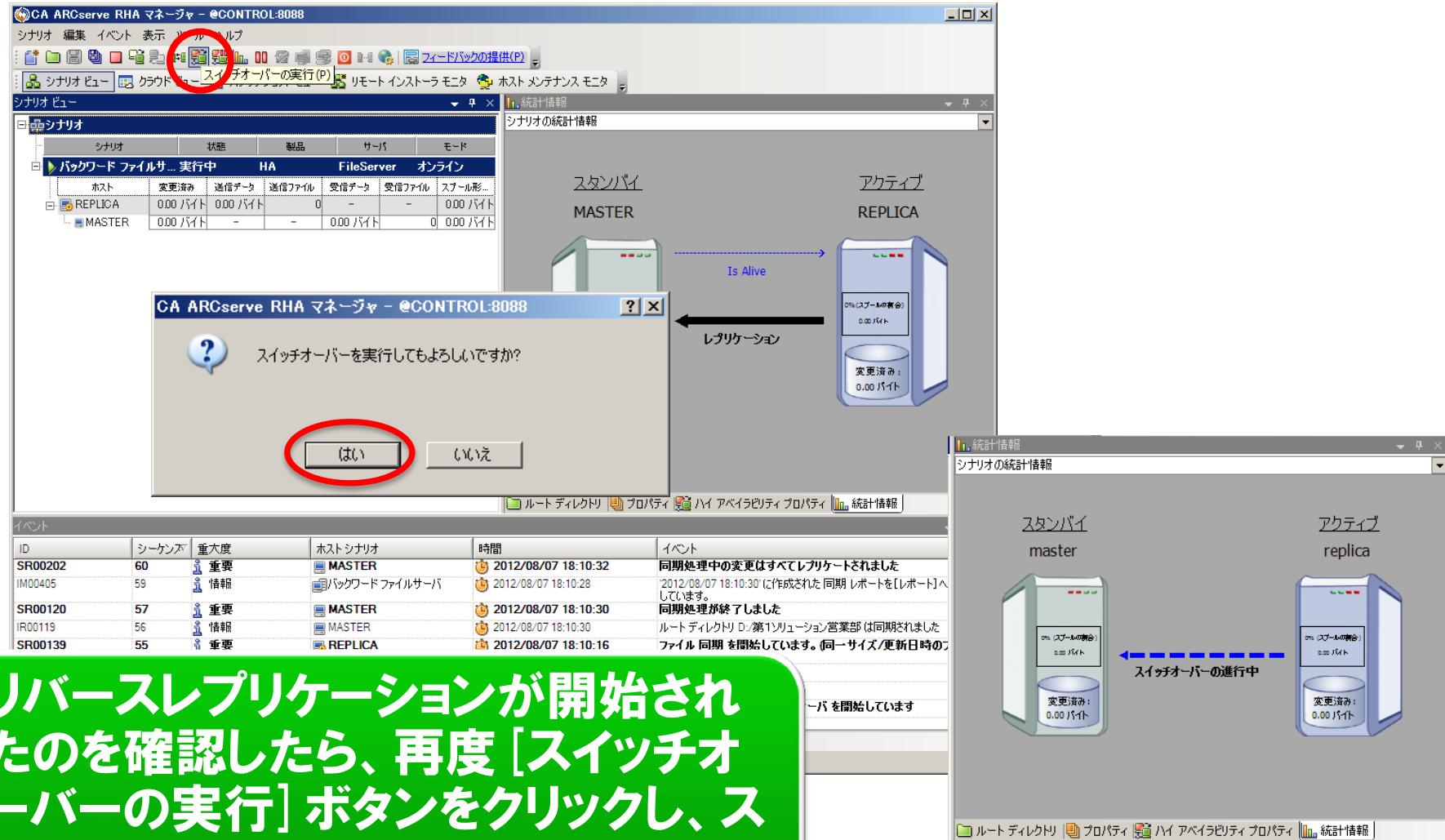


シナリオを実行し、[検証結果] 画面で [実行] をクリック



同期の方法を確認し、[OK] をクリック

# リバースレプリケーションとスイッチバック



# リバースレプリケーションとスイッチバック

```
管理者: C:\Windows\system32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 6.0.6002]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation.

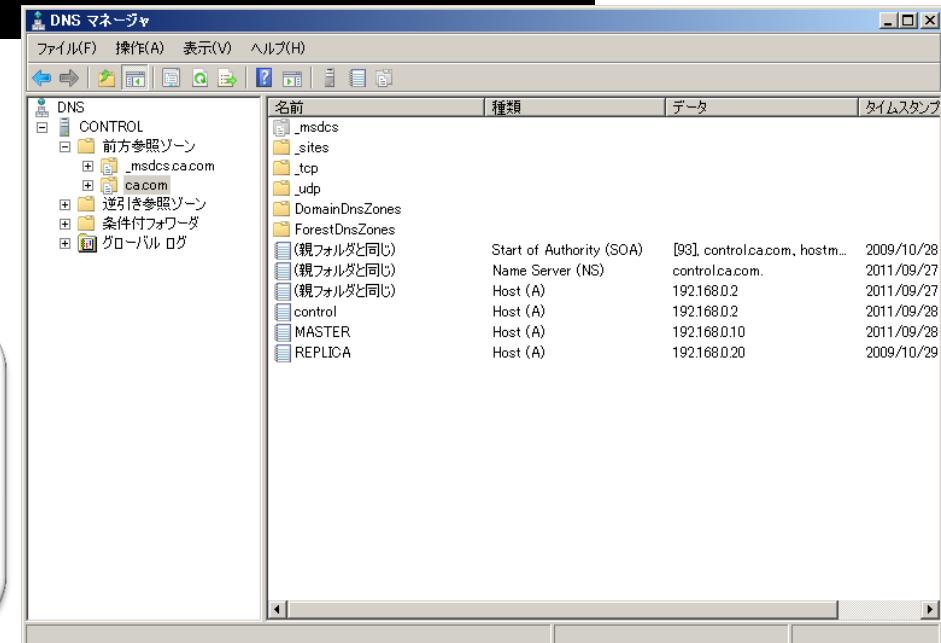
C:\$Users\$Administrator>hostname
MASTER

C:\$Users\$Administrator>
```

```
管理者: C:\Windows\system32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 6.0.6002]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation.

C:\$Users\$Administrator.CA>hostname
REPLICA

C:\$Users\$Administrator.CA>
```



The screenshot shows the Windows Taskbar with the 'DNS マネージャ' icon highlighted. Below it is a detailed view of the DNS Manager interface.

**DNS マネージャ**

名前	種類	データ	タイムスタンプ
_msdcs	Start of Authority (SOA)	[93], control.ca.com, hostm...	2009/10/28
_sites	Name Server (NS)	control.ca.com.	2011/09/27
_tcp	Host (A)	192.168.0.2	2011/09/27
_udp	Host (A)	192.168.0.2	2011/09/28
DomainDnsZones			
ForestDnsZones			
(親フォルダと同じ)	Host (A)	192.168.0.10	2011/09/28
(親フォルダと同じ)	Host (A)	192.168.0.2	2011/09/28
(親フォルダと同じ)	Host (A)	192.168.0.2	2011/09/28
control	Host (A)	192.168.0.10	2011/09/28
MASTER	Host (A)	192.168.0.20	2009/10/29
REPLICA	Host (A)	192.168.0.20	2009/10/29

マスター・レプリカ再起動後にコンピュータ名およびDNSサーバのAレコードが元の状態に戻っていることを確認します